



名立まちづくり協議会 会報

まち協だより



「暑さ寒さも彼岸まで…」と言われるように、1ヶ月前までの猛暑の日々を思い出せば、まさしくそのとおりの秋模様になってきました。とはいえ、里山が紅葉色に染まるまでにはもうしばらく時間がかかるでしょうが、季節の移ろいを感じながら、名立の秋を楽しむことにしましょう。

【敬老会のお知らせ】

毎年、多くのみなさんが楽しみにされている敬老会の祝賀会については名立区だより「しずく」でお知らせのとおり、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止になりました。



刈り入れに汗を流す
高橋満夫さん(新町)

来年はまた多くのお集まりいただけるよう、これからもお一人おひとりが手指消毒やマスク着用などの感染予防に取り組み、一日も早い終息を祈るばかりです。

そこで、そうした願いや思いも込めて、長年にわたり社会に貢献してこられた75歳以上(昭和21年4月1日以前に生まれた方)のみなさんのご長寿を祝い、敬老祝品をお届けする準備を進めています。

敬老祝品は当初、敬老祝賀会を予定していた10月18日(日)とその前日の17日(土)の2日間に分けて、各地区の住民組織役員のみなさんからご自宅にお届けさせていただく予定ですので、もうしばらくお待ちください。



【住民アンケートのお願い】

今年度、名立まちづくり協議会はこれからも名立が誰もが暮らしやすいまちであるためにどのようなまちづくりを進めていけばいいのかをみんなで考え、取り組んでいくための「名立まちづくり計画」の策定を進めています。

そこで、まちづくり計画が「名立区住民による名立区住民のためのまちづくり計画」になるため、地域やお一人おひとりが主体的に取り組んでいくことができる「暮らし」、「福祉」、「子どもたち」、「地域づくり」の4つの分野に関するお考えや今後のまちづくりに向けての思い・願いについてお尋ねするアンケートを実施しています。

ご多用のことと思いますが、アンケートにご理解とご協力をよろしくお願ひします。

【その後の“千羽鶴”】

7月下旬から8月上旬にかけて区内各所にお届けさせていただい



2020.8.9 名立駅イベント

た千羽鶴ですが、ご覧いただいたでしょうか。その後も千羽鶴は屋外へ翼を羽ばたかせて各所に現れています。

8月9日は名立駅MS作戦10年目突入イベントの会場に…。

9月5日に開催された名立中学校体育祭では、学校のご配慮で本部テントに千羽鶴が飾られていて、色とりどりの折鶴が秋風になびきながら、生徒たちの活躍と体育祭の成功を見守っていました。

また、9月6日に行われた名立南部仏教協会主催の坂本弁護士「慰霊の会」に千羽鶴を手向けさせていただきました。

一羽一羽に「祈り」「願い」を込められた折鶴が繋がれた千羽鶴は平和の象徴とされています。

その思いを新たにするとともに、令和となった今、悲しい事件や事故が起こらぬよう永遠の平和を願い、9月16日には名立

機雷爆発事件の犠牲者を慰霊するお地藏様へも千羽鶴を手向けさせていただきました。

千羽鶴の展示や奉納にあたり、ご助言・ご協力をいただいた関係者のみなさん、ありがとうございました。

【外出支援事業】

8月12日(水)は高田城址公園へ蓮鑑賞に出かけた後、ホームセンターやスーパーで苗や日用品・食品などの買物をしていただき、9月9日(水)は大島区の「日本一のトコロテン」を味わいに少し遠出のドライブを楽しみ、帰りにスーパーで買物をしていただきました。

このように、外出支援は買い物だけではなく、利用される方の負担にならない程度の場所を選定し、その時々季節を楽しめる場所へ行き、風景などを楽しんでいただいています。

8月は7名、9月は5名の方が利用されましたが、まち協職員のほか2名のボランティアに買い物サポートなどご協力をいただいています。ありがとうございました。

今後も毎月1回外出支援を実施しますので、車の運転ができない方や公共交通機関の利用が困難な方で外出支援を利用されたい方は、まち協事務局までお問い合わせください。



トコロテンのほか、あんみつもおススメです♪



2020.9.6 坂本弁護士「慰霊の会」



地藏尊移設世話人の高橋健一さんと…



2020.9.5

名立中学校 体育祭



【編集・発行】名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二

上越市名立区名立大町 200-1(名立地区公民館内)

担当:金子 僚子、石井 三千代

☎:025-537-2182 FAX:025-546-7041 ✉:matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp